

コロナの終焉後、これまでの社会のあり方を反省し、一極集中や中央集権、経済優先から地域分散や地方分権、生活優先の社会に転換する必要があります。新たな地域政策を提案したいと思います。

## 阪神間とのアクセスを改善し、企業誘致を進めて雇用と地域経済の活性化、都市近郊農業の促進を図る

1. 阪神高速池田線を延伸させ、篠山東部に直結させる
2. JR 福知山線篠山口以北の複線化を進める。
3. 舞鶴道(市島)と豊岡道(氷上北)にスマートインターを設置する



その理由は

## 丹波のためでもあるが、「近畿圏のための大規模構想」

南海トラフ地震のリスク回避や大都市部の過密解消が必要です。海外工場の国内回帰も国家的課題です。丹波は大阪からわずか40~80km。アクセス改善で近畿圏は自然豊かな丹波の地を有効活用できると言えます。私たちが丹波の未来ビジョンを描き、投資を呼び込む必要があります。

### 「内部留保活用経済国土再生計画」を提言

発生が予想される巨大地震は都市臨海部の工業地帯

を壊滅させ、大企業は海外にある既存工場に生産拠点を移すものと思われます。傘下の中小企業や雇用は大打撃を受け、日本経済は壊滅します。

460兆円もの内部留保を有する大企業に地方への投資を促すために投資減税を実施します。工場や従業員住宅等の地方移転によって、リスク回避と内需拡大、さらに過密過疎のアンバランスを解消することが期待できます。

(ホームページ参照)

## 丹波の未来を語ろう

丹波は大阪、神戸、京都、さらに舞鶴や姫路とも等距離にあって大変利便性のよい立地にあります。山に阻まれて過疎が進行しましたが、今日の土木技術があれば、短時間で大都市と直結されます。篠山市東部は30~40分で大阪と結ばれると思います。

企業を誘致することで、若者定着や地域の商工業の活性化、人口の増加を期待できます。また、大消費地と直結することで付加価値の高い都市近郊農業を展開することが可能です。

大都市圏との交通アクセスを改善し、丹波の豊かな自然環境と農地、文化を活かして希望のもてる田園文化都市を創り上げたいと思います。

## コロナに思う、政治の責任

コロナ禍が世界から伝えられる中、各国政府の対応とコロナ被害の状況に大きな差があることが分かります。

国民が大きな声を上げながら、なぜPCR検査が不十分なのか。休業要請をしながら補償が中途半端なのか。なぜこんなにもスピードが遅いのか。本当に歯がゆい思いです。

緊急時、政治が如何なる判断基準でどう行動したのか、政治の本質と力量が問われています。

## 相談窓口

相談内容	問い合わせ先	電話番号
		受付時間
予防・検査・医療	兵庫県	078-362-9980
	コールセンター	24時間対応
緊急事態措置等	緊急事態措置	078-362-9921
	コールセンター	平日9時~18時
休業要請経営	経営継続支援金	078-361-2281
	相談ダイヤル	9時~17時
経営・融資・全般	産業活性化センター相談窓口	078-977-9079
		平日9時~18時
	兵庫県 よろず支援拠点	078-977-9085
		平日9時~18時
		080-1400-9153
		土日祝9時~17時
中小企業融資	兵庫県 地域金融室	078-362-3321
		平日9時~17時30分
雇用	労働局総合相談コーナー	078-367-0850
		平日9時~17時
DV被害	DV相談ナビ	0570-0-55210
		各地の相談機関に転送
児童虐待	虐待対応ダイヤル	189
		各地の相談機関に転送

ホームページをお訪ね下さい。

ツイッター  
ブログ  
YouTube  
FaceBook



梶原やすひろ事務所

丹波篠山市西岡屋甲 570-2  
TEL 079-552-7107 FAX 079-554-1700  
E-mail seiji@kajiwarayasuhiro.jp